

2026年度版教員採用試験対策「参考書」シリーズ正誤表

2025年6月9日

協同出版

弊社の出版物に以下の誤りがありました。謹んでお詫びするとともに、下記のように訂正いたします。

◆正誤表に掲載されていない正誤に関する疑問点がございましたら、下記項目をご記入の上、電子メール、FAX、または郵送にてお送りいただくようお願いいたします。

- ① 書籍名、都道府県(学校)名、年度
 教員採用試験シリーズの場合は過去問、参考書等もご記入ください。
 (例：東京都教員採用試験参考書シリーズ 小学校教諭 20〇〇年度版)
- ② ページ数、問題番号
 書籍に記載されているページ数、問題番号をご記入ください。
- ③ 正誤についての問い合わせ内容
 内容は具体的にご記入ください。(例：問題文では“ア～オの中から選べ”とあるが、選択肢はエまでしかない など)

〔送付先〕

- 電子メール：edit@kyodo-s.jp
- FAX：03-3233-1233 (協同出版株式会社 編集制作部 行)
- 郵送：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5 協同出版株式会社 編集制作部 行

〔ご注意〕

- 電話での質問や受験相談等につきましては、受付しておりませんのでご注意ください。
- 正誤表の更新は適宜行っております。
- いただいた疑問点につきましては、当社編集制作部で検討の上、正誤表への反映を決定させていただきます(個別回答は、原則行っておりませんのでご了承ください)。

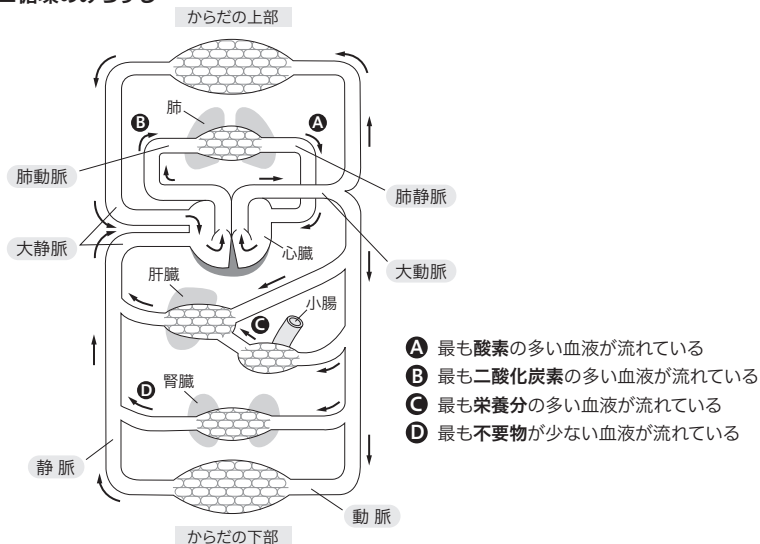
県名	教科名	章	頁数	該当箇所	誤	正
東京都	教職教養	第10章	384	Point 学校制度の変遷	国民学校令：1889（明治22）年	国民学校令：1941（昭和16）年
新潟県	教職教養	第2章	133	図2	発達支援的生徒指導	発達支持的生徒指導
新潟県	教職教養	第3章	174	図	発達支援的生徒指導	発達支持的生徒指導
新潟県	教職教養	第5章	241	4（4）下から2行目～ 最終行 太字部分	談してみましょう。	相談してみましょう。
大阪府	教職・一般教養	第4章	194	7 障害を理由とする差別 の解消の推進に関する法律	「障害を理由とする差別の推進に関する法律（障害者差別解消法）」	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」
大阪府	教職・一般教養	第10章	313	Point 学校制度の変遷	国民学校令：1889（明治22）年	国民学校令：1941（昭和16）年
熊本県	教職教養	第1章	42	学校運営協議会	地方行育行政の組織及び運営に関する法律	地方教育行政の組織及び運営に関する法律

県名	教科名	章	頁数	該当箇所	誤	正
山形県	一般教養	第1章	20	左段	慰藉 いしゃ	慰藉 いしゃ
群馬県	一般教養	第7章	238	最下段 数式	$9x^2 - 12x + 4$	$9x^2 - 12x + 4 < 0$
群馬県	一般教養	第8章	297	最下段	化学反応式欠落	$\text{N}_2 + 3\text{H}_2 \xrightleftharpoons[\text{B}]{\text{A}} 2\text{NH}_3$
埼玉県	一般教養	第4章	112	①キリスト教の広まり	大友純忠	大村純忠
三重県	一般教養	第7章	202	例題 解説	$2x + 4y = 5$	$2x + y = 5$
岩手県	小学校教諭	第4章	226	理科 ①目標 Point	音楽科	理科
山形県	小学校教諭	第2章	65	東北地方 特色	岩手県 気仙沼港	宮城県 気仙沼港
山形県	小学校教諭	第2章	93	□幕府の衰退～□鎌倉文化	内容重複	削除(p93□幕府の衰退～□鎌倉文化)
栃木県	小学校教諭	第3章	87	□幕府の衰退～□鎌倉文化	内容重複	削除(p87□幕府の衰退～□鎌倉文化)
東京都	小学校教諭	第1章	36	慣用句 的を射る	うまく要 つかむこと	うまく要点をつかむこと
東京都	小学校教諭	第2章	75	□幕府の衰退～□鎌倉文化	内容重複	削除(p75□幕府の衰退～□鎌倉文化)
東京都	小学校教諭	第2章	78	応仁の乱 (1466～1467)	山名勝元と細川持豊	山名持豊と細川勝元
東京都	小学校教諭	第3章	122	2次方程式	$D > 0 \Leftrightarrow$ 共役な2つの虚数解をもつ (実数解をもたない)	$D < 0 \Leftrightarrow$ 共役な2つの虚数解をもつ (実数解をもたない)
東京都	小学校教諭	第4章	184	④血液循環 血液の成分とはたらき	表の下が切れている	別紙1参照
富山県	小学校教諭	第2章	115	□幕府の衰退～□鎌倉文化	内容重複	削除(p115□幕府の衰退～□鎌倉文化)
富山県	小学校教諭	第2章	118	応仁の乱 (1466～1467)	山名勝元と細川持豊	山名持豊と細川勝元
和歌山県	小学校教諭	第1章	36	慣用句 的を射る	うまく要 つかむこと	うまく要点をつかむこと
埼玉県	社会科	第2章	119	例題1-2表	空欄 (A) がない、エにトルコが二か所記載されている	問題不成立のため(2)の問題削除
東京都	社会科	第1章	53	例題2 (2) 表a	自転車	自動車
東京都	社会科	第1章	34	産業別人口 三角グラフ	グラフ三角形内部の白線がずれている	別紙2参照
東京都	社会科	第1章	34	産業別人口 三角グラフ	グラフの軸 左から時計回りで 第2次 第3次 第1次	グラフの軸 左から時計回りで 第3次 第1次 第2次

県名	教科名	章	頁数	該当箇所	誤	正
東京都	社会科	第1章	51	例題1-2 (2)	空欄 (A) がない、エにトルコが二か所記載されている	問題不成立のため(2)の問題削除
大阪府	社会科	第2章	114	産業別人口 三角グラフ	グラフ三角形内部の白線がずれている	別紙2参照
大阪府	社会科	第2章	114	産業別人口 三角グラフ	グラフの軸 左から時計回りで 第2次 第3次 第1次	グラフの軸 左から時計回りで 第3次 第1次 第2次
奈良県	社会科	第2章	118	産業別人口 三角グラフ	グラフ三角形内部の白線がずれている	別紙2参照
奈良県	社会科	第2章	118	産業別人口 三角グラフ	グラフの軸 左から時計回りで 第2次 第3次 第1次	グラフの軸 左から時計回りで 第3次 第1次 第2次
神戸市	社会科	第1章	21	類題 解答 問1～3	問1 ④ 問2 ③ 問3 ⑤	問1 ② 問2 ⑥ 問3 ④
岐阜県	英語科	第1章	33	最上段 ③	most + 人称代名詞	most of + 人称代名詞
岐阜県	英語科	第1章	58	例題4 英文	him	her
和歌山県	英語科	第1章	58	例題4 英文	him	her
北海道	数学科	第1章	20	4 剰余の定理 数式	$p(x) = p(x)q(x) + r(x)$	$f(x) = p(x)q(x) + r(x)$
千葉県	数学科	第10章	201	10 極限 ①基本公式 (d)	$\lim_{\theta \rightarrow \infty} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$	$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$
東京都	数学科	第1章	18	4 剰余の定理 数式	$p(x) = p(x)q(x) + r(x)$	$f(x) = p(x)q(x) + r(x)$
名古屋市	数学科	第2章	49	解説 例題13 (2) グラフ 曲線 式	$y = \sqrt{x-1}$	$y = \sqrt{x+1}$
静岡県	理科	第1章	41	例題1 (4) 1 解答	2.8	35
愛媛県	理科	第1章	45	例題1 (4) 問題文	電熱線A～Cを直列につないだとき	電熱線A～Cを並列につないだとき
愛媛県	保健体育科	第9章	268	表 転移 内容	不要な○	削除
千葉県	養護教諭	第2章	62	例題8 (4) 語群	5 カタ温度計	5 風速計
長野県	養護教諭	出題傾向と 学習法	9	例題 解答①	治療する	治癒する

県名	教科名	章	頁数	該当箇所	誤	正
広島県	養護教諭	第1章	8	例題 解答	ア 安全 イ 安全点検 ウ 通学 エ 職員の研修 オ 計画 カ 危険等発生時 キ 危害 ク 心理的外傷 ケ 心身の健康	ア 心身 イ 保持増進 ウ 管理運営体制 エ 健康相談 オ 救急処置 カ 保健室 キ 観察 ク 健康上 ケ 保護者
福岡県	養護教諭	出題傾向と 学習法	10	解答 オ	5	2
福岡県	養護教諭	出題傾向と 学習法	15	解答 (2)	死線期呼吸	死戦期呼吸
沖縄県	養護教諭	第10章	290	例題7	(1) 下線部A (2) 下線部B (3) 下線部C	(1) 下線部① (2) 下線部② (3) 下線部③

■循環のみちすじ



□血液の成分とはたらき

赤血球	ヘモグロビンを含み、酸素を運ぶ
白血球	体内に侵入した細菌を殺す(免疫)
血小板	血液を凝固させ、出血をとめる
血しょう	栄養分、老廃物を運ぶ

5 消化と吸収

□消化管

食べ物は、口→食道→胃→小腸→大腸→肛門の順で消化管を通る。

□消化酵素

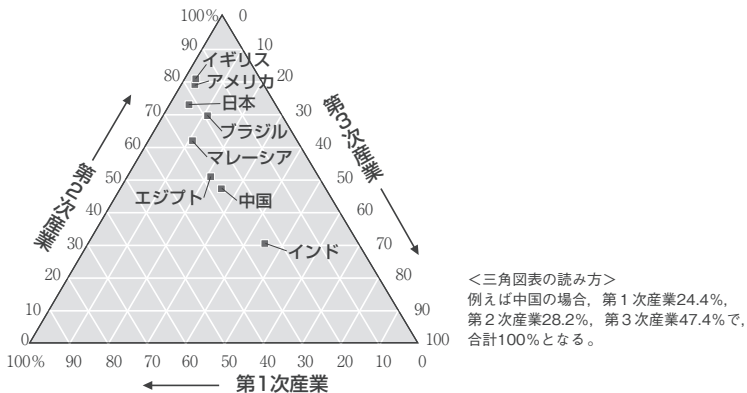
消化液中に含まれ、食物中の栄養分を分解するはたらきをもつ。

35℃前後で最もよくはたらく。

別紙2

〇〇県の社会科

- 世界の人口 2023年でおおよそ80億4500万人。今後とも増加すると予想されている。先進国では出生率・死亡率がともに低い。開発途上国は死亡率が低くなったが、出生率は高いので人口爆発が起きている。
- 日本の人口 2023年でおおよそ1億2435万人。
- 日本の人口密度 2023年で、おおよそ333人/km²。
- 日本の年齢別人口比率 2022年でおおよそ、年少人口(15歳未満)が11.4%、生産年齢人口(15～64歳)が59.5%、老年人口(65歳以上)が29.1%となっている。
- 合計特殊出生率 1人の女性が生涯に産む子供の数の平均。日本の場合は、2022年で1.26。長期的に人口を維持できる数値(人口置換水準)とされる2.07を下回っているので、人口減少が懸念されている。
- 外国人人口 2023年現在、日本で登録されている外国人の数は約341万人。国籍別に見ると、中国、ベトナム、韓国、フィリピン、ブラジルの順に多い。
- 産業別人口 2021年現在、第1次産業人口比率3.2%、第2次産業人口比率23.7%、第3次産業人口比率73.1%である。



- ・開発途上国は第1次産業人口の比率が大きい。
- ・鉱工業に大きく依存する国は第2次産業人口の比率が大きい。
- ・産業構造の高度化により、先進資本主義国では第3次産業人口の比率が大きい。